

高等学校 令和8年度 (3,4学年用) 教科 情報 科目 情報デザイン

教科: 情報 科目: 情報デザイン 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3,4 学年 1組 ~ 3組

教科担当: ( 1組: 清水 ) ( 2組: 清水 ) ( 3組: 清水 )

使用教科書: ( 情報デザイン (実教出版) )

教科 情報の 目標:

【知識及び技能】情報の各分野について体系的・系統的な理解を深めるとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】情報産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、情報産業の創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 情報デザインの 目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報伝達やコミュニケーションと情報デザインとの関係について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	情報デザインの手法、構成、活用に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	情報デザインによる効果的な情報伝達やコミュニケーションの実現を目指して自ら学び、コンテンツやユーザインタフェースのデザインなどの構築に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	デザインって何だろう 【知識及び技能】 ・社会におけるデザインの役割や対象について理解を深めるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間中心設計のデザインを考える力を身に付ける。 ・デザインによる課題解決の事例を説く力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・社会におけるデザインの果たす役割について、考える態度を養う。 ・デザインのプロセスを用いて、主体的に課題の発見や解決の振り返ろうとする態度を養う。	・デザインの学習で使用する周辺機器の基本的な操作を練習する。 ・普段の生活等の身近なところで使用されているデザインを調べる。 ・有意義なデザインにするためには、見た目よきだけにとらわれるのではなく、倫理観や社会的意識をもって、社会に及ぼす影響を考慮する姿勢が大切であることを理解する。 ・デザインのプロセスについて基本的な流れを理解する。	【知識・技能】 ・社会におけるデザインの役割や対象について理解している。 ・デザインのプロセスについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・人間中心設計のデザインについて考えることができる。 ・デザインによる課題解決の事例について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会におけるデザインの果たす役割について、主体的に学ぼうとしている。 ・デザインのプロセスについて、主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	10
	何をデザインするのか 【知識及び技能】 ・情報デザインの意義や役割、対象について理解を深めるようにする。 ・コミュニケーションモデルについて理解を深めるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・効果的に課題を解決するための情報デザインを考える力を身に付ける。 ・情報の送受信をコミュニケーションモデルで説明する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報デザインの対象について、自ら学ぼうとする態度を養う。	・情報社会の中で、情報の受け手としては必要な情報を取捨選択し、送り手としてはわかりやすく表現して伝えることが必要であることを理解する。 ・情報デザインの歴史や役割について理解する。 ・コミュニケーションモデルを理解し、表現の文脈に込められたメッセージを読み解く姿勢、送り手と受け手の間でどのような体験を共有できるかに配慮する姿勢が大切であることを理解する。	【知識・技能】 ・情報デザインの歴史や役割、対象について理解している。 ・コミュニケーションモデルについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・効果的に課題を解決するための情報デザインを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報デザインの対象について、主体的に学ぼうとしている。 ・コミュニケーションモデルについて主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	10
	1学期末考査				○	○	

2 学 期	デザインの造形要素 【知識及び技能】 ・形態や色の分類、特性について理解を深めるようにする。 ・色彩を使った表現や造形が人間の心理に与える影響について理解を深めるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報伝達やコミュニケーションにおいて、形態や色彩の効果的な活用について考える力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・造形や色彩が人間の心理に与える影響を自ら学び、課題解決に活用しようとする態度を養う。	・造形の基礎となる要素「形態」とその機能、「色彩」について分析する。 ・基本形態（純粋形態）として点・線・面・さらには立体・空間の造形的意味を理解する。 ・配色を効果的に利用するため、色の三属性（色相、明度、彩度）など色彩のもつ意味を理解する。 ・色によるさまざまな心理的な効果を理解する。	【知識・技能】 ・形態や色の分類や特性について理解している。 ・色彩を使った表現により人間の心理にどのような影響を与えるか理解している。 ・造形により人間の心理にどのような影響を与えるか理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報伝達やコミュニケーションにおいて、形態や色彩の効果的な活用について考えることができる。 ・造形や色彩が人間の心理に与える影響を考慮して、課題解決に向けて造形や色彩を適切に選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形や色の効果について主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	12
	Webデザイン 【知識及び技能】 ・情報をWebサイトで発信するためのWebサイトの構造やデザインの工夫について理解を深めるとともに、制作する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて、Webサイトの構造を構想し、Webデザインを工夫して情報を発信する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・Webサイトの構造について自ら学び、情報発信のためのWebサイトの構築に主体的かつ協働的に取り組もうとする態度を養う。	・HTMLやCSSの基本的な記述方法について学ぶ。 ・Web ページ作成を通して、情報をよりよく理解してもらうための工夫の一つとしての情報デザインの意義を理解する。 ・オリジナルのWebページの制作を通し、情報を正確にわかりやすく伝えるためのWebデザインの方法を学ぶ。	【知識・技能】 ・Webサイトで発信するためのWebサイトの構造やデザインの工夫について理解する。 ・HTMLとCSSの基本的な記述方法について理解する。 【思考・判断・表現】 ・目的に応じて、Webサイトの構造を構想し、Webデザインを工夫してクラスの情報を発信することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・Webサイトの構造について自ら学び、オリジナルのWebサイトの構築に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	造形要素の構成 【知識及び技能】 ・造形要素の構成の基礎となる手法やデザインの計画手順について理解を深めるようにする。 ・情報をわかりやすく伝えるための手法や、情報を印象的に伝えるための手法について理解を深めるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・印象的に情報を伝えるための造形要素の構成や配色を考え、選択する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・造形要素の構成の基礎となる手法について自ら学び、情報伝達を振り返り、改善に取り組もうとする態度を養う。	・レイアウトの基本原則について理解する。 ・構成の基礎となる「空間の分割」「レイアウトの作成手順」「デザインの計画手順」を学び、理解する。 ・情報をわかりやすく伝えるためのいろいろな方法を学ぶ。	【知識・技能】 ・造形要素の構成の基礎となる手法やデザインの計画手順について理解している。 ・情報をわかりやすく、印象的に伝えるための手法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的に応じて適切に造形要素を選択することができる。 ・わかりやすく情報を伝えるための造形要素の構成や配色を考え、選択することができる。 ・印象的に情報を伝えるための造形要素の構成や配色を考え、選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形要素の構成の基礎となる手法について主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	6
2学期末考査			○	○		1	
3 学 期	デザインの検討 【知識及び技能】 ・情報の収集、コンセプトの立案、情報の組み立てなど、具体的に情報デザインを検討するための技法についての理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて、情報を構造化して情報デザインを構築する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報の収集とコンセプトの立案について自ら学ぼうとする態度を養う。	・デザインを検討するための、適切な情報収集の手法について理解する。 ・定量的、定性的な「情報」の違いについて理解する。 ・収集した情報をもとに、デザインのコンセプトを考えるための手法について理解する。 ・デザインを構成する情報の組み立て方について理解する。	【知識・技能】 ・情報デザインのための情報収集や課題の導出の方法について理解している。 ・情報デザインのコンセプト立案の方法や情報の分類、構造化の方法と表現について理解している。 ・具体的な情報デザインを検討するための技法（情報の収集、コンセプトの立案、情報の組み立てなど）を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・情報を収集し、収集した情報から解決すべき課題を発見することができる。 ・目的に応じて、情報を構造化し、情報デザインを構築することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報の収集とコンセプトの立案について主体的な学ぼうとしている。	○	○	○	7
	デザインの活用 【知識及び技能】 ・情報デザインの役割やインタフェースの工夫、デザインにかかわる権利について理解を深める。 ・インフォグラフィックスやWebページなどメディアのビジュアルデザインについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて、ビジュアルデザインの活用を考え、適切に選択してデザインを創造する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・目的を踏まえ、情報デザインを用いた課題の解決に、主体的かつ協働的に取り組もうとする態度を養う。	・システムのデザインについて学ぶ。 ・デザインに関する権利について理解する。 ・さまざまな人へ情報を届けるための手法や各メディアの違いを理解し、考える力を身に付ける。 ・スケッチ、ワイヤーフレーム、プロトタイプといったインタラクティブデザインについて理解する。	【知識・技能】 ・デザインに関する権利について理解している。 ・インフォグラフィックスやWebページなどメディアのビジュアルデザインについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会や身のまわりの情報伝達やコミュニケーションの課題について、発見することができる。 ・目的に応じて、ビジュアルデザインやインタラクティブメディアの活用を考え、適切に選択してデザインを創造することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・目的を踏まえ、情報デザインを用いた課題の解決に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	観察と表現 【知識及び技能】 ・観察の方法や視点、観察の結果を表現するときの考え方について理解を深めるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・観察の方法や視点を変えて対象を観察したり、目的に応じて観察したり、観察の結果を表現したりする力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・観察の方法や視点について関心をもち、ねばり強く観察に取り組もうとする態度を養う。	・眼に見える物体だけではなく、人々の行動や社会現象など意識しないと見えてこない事象も観察の対象であることを理解する。 ・自然物や人工物、事象などを対象とし、目に見える動きや見えない感性の変化を理解し、全体や部分の観察、時間の経過での変化のプロセスも学び、さまざまな観察の視点を理解する。 ・具象から抽象までの四つの視点を学び、効果的に表現する造形の手法や質感的表現を体験を通して理解する。	【知識・技能】 ・観察の方法や視点について理解している。 ・観察の結果を表現するときの考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・観察の方法や視点を変えて対象を観察することができる。 ・目的に応じて観察したり、観察の結果を効果的に表現したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察の方法や視点について関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 ・造形や表現技法の視点から、自らの表現活動を振り返り、改善しようとしている。	○	○	○	6
1年間のまとめ			○	○		1	
						合計	
						78	